

浅井町ふれあいたより

3月号

重点施策 「安全で安心なまちづくりと子どもたちの健全育成」 発行日 平成 30 年 3 月 1 日 発行者 浅井町地域づくり協議会

ホームページ:138azai.org(検索「浅井町地域づくり」)

一宮市浅井町前野字郷西 85 (浅井町出張所)

感謝の気持ちを伝える3月に

一宮市立浅井中小学校 校長 福田 聡



学校にとって、3学期は1年のまとめの時期となります。また、次年度への準備を進める学期でもあります。本校では、次の学年への0学期と位置付けて、進級・進学を念頭に置いた学習面・生活面のまとめとともに、次学年の心構えを持たせる指導をしています。

2月に行われた来年度本校に入学する園児を迎えての体験入学の場では、校内ではまだ世話をされる側である1年生が、体験入学の司会を務めたり、小学校生活について園児に優しく教えたりすることができました。こうした体

験を通して、2年生への心構えができ、学習や生活面で頼もしさが見られるようになってきています。校内での週番活動や通学班長の活動は、2月末から3月初めに6年生から5年生へと引き継がれ、5年生が最上級生になるという心構えをもって活動に取り組んでいます。

また、3学期の後半は、感謝の気持ちを伝える行事も多く行われます。本校では、2月末に日頃から登下校でお世話になっている見守り隊の方を招いて、感謝の会を開いています。感謝の会では、代表児童の感謝の言葉を伝えたり、児童全員で書いた感謝の手紙を渡したりして、全校で感謝の気持ちを伝えました。

これからは、6年生を送る会、卒業式といった1年を締めくくる大切な行事が続きます。在校生・卒業生ともに、お世話になった方への感謝の気持ちを伝えられるようにしていきたいと思います。「ありがとう」の言葉が飛び交い、誰もが温かい気持ちで、有終の美を飾ることができる3月になるよう職員一同、力を合わせて取り組んでいきたいと思います。



平成 29 年度 “本当に、ありがとう御座いました”

浅井町連区町会長代表者 森 起志男

お日様も日ごとに力を盛り返して、花の便りも聞こえる良い季節となって参りました。皆様方には益々ご清栄の段、お慶びを申し上げます。さて、この1年間私共は、町内会長として皆様方の心強いご支援、ご協力のもと連区及び地元町内会の事業運営を進めて参りました。振り返ってみますと、多くの行事に参加して経験と個性豊かな諸先輩との出会いに恵まれて、教えられ支えられての日々であったと思います。然しながらその成果の程を計り知ることは出来ません。残すところわずかとなって参りましたが、ここに町会長会を代表して、正副連区長より浅井町民の皆様方へ感謝と御礼を申し上げますと共に、浅井連区の一層の発展と皆様のご健勝を祈りつつ、新たな平成 30 年度の新役員に期待を込めてバトンを渡したいと存じます。これからも地域の発展のため皆様方のご理解、ご協力を宜しくお願い申し上げます。





長寿会会員 大募集中！ 浅井町長寿会会長 脇田 敏光

長寿会会長として、この1年間シルバー教養講座、三世代交流ニュースポーツ大会、浅井町文化祭、ことぶき作品展など様々なイベントを連区の役員様のご協力のもと、各町内の長寿会長さん、女性部長さんと共に進めてまいりました。こうしたイベントに参加される方は、本当に元気でいつも明るい顔をされています。現在、会員となっていない皆様、どうぞ地域の会員同士の触れ合いと助け合いを通じて、より健康で豊かな毎日を過ごしていただくために、浅井町長寿会への入会をお勧めします。元気で楽しいお仲間が待っていますよ。

第56回一宮手をつなぐ子らの教育展

2月2日(金)から6日(火)まで「一宮手をつなぐ子らの教育展」がスポーツ文化センターで開催されました。一宮市教育委員会と「手をつなぐ親の会」の共催で、市内の小中学校、特別支援学校などに通う児童、生徒の作品が会場所狭しと展示されました。この教育展は障害児、者の理解と啓発を目的に開催されており、今回は「できたよ かけたよ たのしいよ」一さがして みつけて 体験したよーをテーマに個性豊かな作品が並びました。浅井4小中学校からも創造性一杯の作品が展示されました。



思い出をかざろう (南小)



浅井北の森 (北小)



恐竜ワールド (中小)



美術：大好き (浅井中)

浅井児童館囲碁教室

2月3日の土曜日、浅井児童館では子ども達が囲碁の碁盤とにらめっこをしている姿がありました。先生から少しのヒントをもらおうと子ども達は良い一手をすぐ導き出していくことに驚きました。いろいろな場面を想定した問題集に取り組んでいる子もいます。いくつか先の手まで考えて碁石を置いていくのはなかなか難しいことですが、先生は褒めたり、アドバイスを出したりと、一人ひとりの力に合わせて指導されています。



子どもが会心の一手を出した時はとても褒めてもらい、その子の嬉しそうな笑顔が印象的でした。

サロン活動レポート (2)

1月17日(水)小日比野本郷の公民館へ『カラオケサロン(責任者：長寿会会長 尾関和男氏)』の取材に伺いました。あいにくの雨でも、月に一度のサロンを楽しみにニコニコ笑顔の方々が集いました。

平成28年5月に発足した『カラオケサロン』は、毎月第3水曜日の午後1時30分～4時まで皆さんと共に親睦を深めています。参加費は無料で、町内の長寿会員を対象として毎回15～16人が集まります。床の間にデーンと鎮座しているカラオケの音響機器は業務用に使われていた立派なもので、町民からの寄付だと伺い支援層の厚さを感じました。「ここへ来るようになって、初めて歌えるようになりました」と話した女性に「キレイになったよ」と男性陣から声がかかりました。和気あいあいとした雰囲気の中で町民同士のコミュニケーションの場になっており、温かい人の繋がりが溢れていました。

